

# 豊田おいでんまつりへの提言

～豊田おいでんまつりの魅力に磨きをかける～



平成19年12月

豊田おいでんまつり懇談会

# 答 申

豊田おいでんまつり実行委員会  
会 長 中村 紀世実 様

平成18年7月20日に諮問のありました「豊田おいでんまつりの魅力に更に磨きをかける」ことについて慎重に審議を重ね、その結果をとりまとめましたので答申いたします。

平成19年12月20日

豊田おいでんまつり懇談会  
会 長 河木 照 雄

# 目 次

はじめに.....	1
1．市民にとってのまつりの意義.....	2
2．なぜ、まつりを見直すのか.....	3
3．これからのまつりのあり方.....	5
4．どのようにして実現するのか.....	8
提言 1 参加のしやすさと魅（見）せる踊りを両立したまつり.....	9
提言 2 日本一質の高い花火が見られるまつり.....	11
提言 3 市民・事業者・行政の共働によるまつり.....	12
提言 4 モラルの高い安全・安心なまつり.....	14
提言 5 いつまでも継承され、市民の自慢となるまつり.....	16
おわりに.....	17
<b>【資料】</b>	
1．豊田おいでんまつり懇談会委員名簿.....	18
2．豊田おいでんまつり懇談会設置要綱.....	19
3．豊田おいでんまつり懇談会の公開及び会議録の公開に関する要綱.....	20
4．豊田おいでんまつり懇談会検討経過.....	22
5．豊田おいでんまつり懇談会への諮問書.....	24
6．中間答申書.....	25
7．豊田おいでんまつりのあしあと.....	27
8．第36回豊田おいでんまつり経済波及効果試算報告書.....	33
9．第39回豊田おいでんまつり試行概要.....	36
10．第39回豊田おいでんまつりアンケート結果.....	40

# はじめに

『ふるさと豊田の文化を創造し、豊かな人間性を培い、明日のエネルギーを蓄える楽しいカーニバルを市民の手で創造する。もって、市民の心の連帯と活力ある豊かなまち豊田市を築こうとするものである。』

豊田おいでんまつりは、多様な意義をその開催趣旨に定め、平成元年からスタイルを一新しました。

まつりの核である総踊りへの参加は、180連、約1万人の踊り連でスタートしましたが、平成18年には876連、約3万5千人に達しました。そして、まつりは、開催趣旨に沿って誰でも参加でき、自由で楽しく、市民の連帯を深め、活力ある豊田市をアピールする名物まつりへと大きく成長しました。

しかし、時代の変化に伴う踊る人、観客、市民のニーズの多様化やまつりの大規模化に伴う課題の発生が、安全・安心でより質の高いまつりへの転換を求める世論を形成しました。

豊田おいでんまつり懇談会は、まつりの魅力に更に磨きをかけるため、第39回豊田おいでんまつりの実施にあたり中間答申を行い、これに基づくまつりを試行していただき、その結果を踏まえて、課題の解決方法について検討し、今後のまつりのあるべき姿を、ここに提言書として取りまとめました。

なお、懇談会設置の趣旨から、第40回以降の長期的な展望にたった、「まつりのあるべき姿」を検討の主題とし、各論に相当する細部の課題については、豊田おいでんまつり実行委員会での検討に委ねるものとなりました。

平成19年12月  
豊田おいでんまつり懇談会  
会長 河木照雄

# 市民にとってのまつりの意義

人の営みの中でまつりが果たしてきたものは何か。  
40年のまつりのあしあとをたどり、市民とまつり、地域とまつりのかかわりを解く。



# 1. 市民にとってのまつりの意義

今後の豊田おいでんまつりのあり方を検討するにあたり、「市民にとってのまつりの意義」を改めて確認します。

まつりのあるべき姿とは、何のためのまつりかを市民が共有しながら、まつりの存在意義とその効用を最も効果的に達成できる姿です。

人々のまつりへの期待、まつりを通じて得ようとするものは多様であり自由です。しかし、前身の「豊田まつり」の20年、スタイルを一新した「豊田おいでんまつり」の19年を通じて、このまつりに求められた市民まつりとしての存在意義は、以下の3点に要約されます。そして、これは今後も引き継がれるべき、まつりのテーマと言えます。

(資料「豊田おいでんまつりのあしあと」参照)

■ (写真) 第39回豊田おいでんまつりより



## 1. 市民が楽しみ元気になるまつり

非日常的な空間の中で、感動や楽しみを通じて活力を取り戻し、明日からの生活や労働にいそしむ、その転機の間として存在してきたまつり本来の効用を果たします。

## 2. 市民の連帯意識とまちづくりへの貢献

市民同士のつながりや、自分たちの住むまちを愛する心が希薄になりがちなか中で、まつりを通じて、連帯意識やふるさと意識を高め、また地域活性化の起爆剤となってまちづくりに貢献します。

## 3. 都市の魅力の発信と市民の誇り

「クルマのまち」は、日本一元気で活力あふれるまちであることを、まつりを通じて発信します。そして、市民が誇れる有名なまつりは、都市の魅力のひとつとして多くの人々を惹きつけます。

# なぜ、まつりを見直すのか

まつり見直し世論の根にあるものは何か。どこで何が起こっていたのか、まつりの更なる魅力づくりに向けた課題を浮き彫りにする。



## 2. なぜ、まつりを見直すのか（問題点と課題）

### （1）豊田おいでんまつりが果たしてきた効用

平成元年にスタイルを一新したまつりは、当初180連、約1万人の踊り連が、平成18年には876連、約3万5千人に達し、誰でも参加でき、自由で楽しく、そしてエネルギーを発散できる豊田市の名物まつりとして市民に根付いてきました。まつりの果たしてきた主な効用を以下に示します。

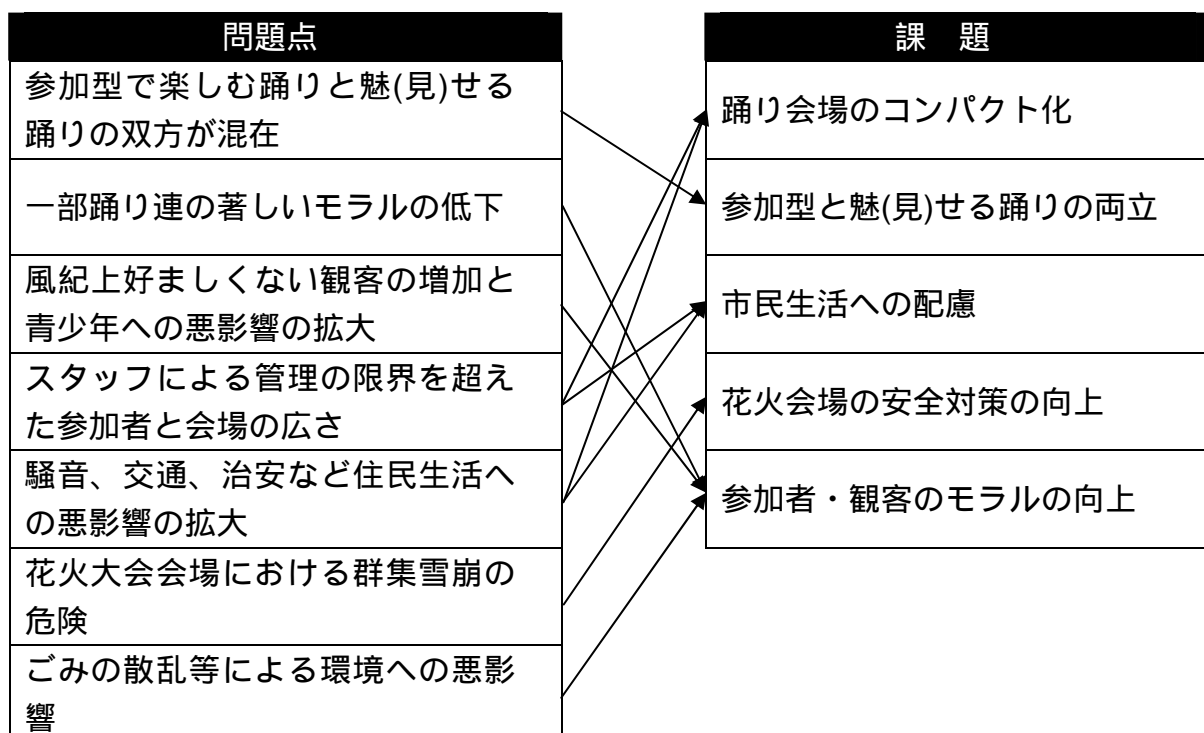
エネルギーの発散・蘇生の間として多くの市民に楽しみを与えてきました。踊り連としての参加を通じて、地域・職場・学校などにおける市民の連帯意識やふるさと意識を醸成してきました。

元気で活力あるまちの象徴として、豊田市の魅力をアピールしてきました。質の高い全国屈指の花火大会として、各種メディアでランキングされるようになりました。

まつりの開催により、1回あたり約16.3億円、約150人の雇用という経済効果をもたらしてきました。（資料「第36回豊田おいでんまつり経済波及効果試算報告書」より）

### （2）第38回豊田おいでんまつりで顕在化した課題

第38回豊田おいでんまつりでは、総踊り終了後に観客が暴れ、逮捕者（市外在住者）が出るなど、モラルの低下をはじめとする多くの問題点が生じ、課題が顕在化しました。生じた問題点と対応が求められる課題を以下に示します。





■モラルの低下、会場混雑の現状（第38回豊田おいでんまつりより）



飲酒しながら騒ぐ踊り連



特攻服衣装で踊らない踊り連



下着まがいの衣装で参加する踊り連



花火大会で混雑する駅前通り

# これからのまつりのあり方

多くの人々に愛されながら巨大になり過ぎたまつりの進むべき道は。大胆な試みを通じて目指すべきまつりの姿を探る。



## 3. これからのまつりのあり方

### (1) 第39回の試行による評価

第38回豊田おいでんまつりで顕在化したまつりの課題に早急に対応するため、「中間答申」を行い、第39回において試行実施していただきました。

#### 1) 中間答申の要旨(資料「中間答申書」参照)

総踊り会場の縮小

予選会の実施

総踊りをパレード形式に変更

総踊り開催日の短縮と開催時間の変更

花火大会の警備員配置の見直し

#### 2) 第39回の試行概要(資料「第39回豊田おいでんまつり試行概要」参照)

参加型の楽しむ「マイタウンおいでん」と、魅(見)せる「おいでんファイナル」に分割

「マイタウンおいでん」を予選会として位置づけ

「おいでんファイナル」会場を豊田市駅から豊田スタジアムの直線コースで実施

「おいでんファイナル」をパレード形式で実施

「おいでんファイナル」を1日のみとし、昼夜2部制で実施

「おいでんファイナル」の終了時間を繰り上げ

「おいでんファイナル」の飲酒規制、給水所の設置

「リトルおいでん」を定置演技で実施

「花火大会」の観客動線の警備員を増強し、会場アナウンスを放送

まつり全体を通じて「おいでんクリーンキャンペーン」を展開

#### 3) 試行結果と評価(資料「第39回豊田おいでんまつりアンケート結果」参照)

##### マイタウンおいでん

##### 〔効果〕

それぞれの地域において、自治区や商店街等が中心となったマイタウンおいでん運営委員会が立ち上がり、地域主体で個性あふれるマイタウンおいでんが実施できました。

ルールの徹底とローカルさゆえに悪質な踊り連の参加が抑制され、衣装等の問題もなく、完成度や協調性など高いレベルの踊りが披露されました。

##### 〔問題〕

地域主体のマイタウンおいでんを、今後の「参加して楽しむおいでんまつり」の中心として位置づけましたが、ファイナル出場をかけた選考会の様相が強くなってしまいました。

初めてイベントを運営する団体もあり、運営レベルにバラつきがありました。

これまでの実績や地理的な条件から、申し込みの多い会場と少ない会場がありました。また、参加者総数は8,561人で第38回総踊り参加者数を大幅に下回りました。

7月14日(土)は、台風4号の影響を受け、8会場中4会場が中止となりました。中止会場ではファイナル出場を抽選で決定したため、ファイナル出場を目標に頑張ってきた踊り連には、理解が得られませんでした。また、雨天時の対応が十分決められていませんでした。

## おいでんファイナル

### 〔効果〕

各マイタウンおいでんから選抜されたこともあり、どの踊り連も真剣かつ整然と踊り、衣装等の問題もなく、完成度や協調性などとてもレベルの高い踊りが披露されました。

踊り連の飲酒を禁止したため、飲酒に伴うトラブル等を防止することができました。また、例年多くあった急性アルコール中毒での救急搬送はありませんでした。

リトルおいでんは、移動しない定置演技とし、保護者等のコース内への立ち入りを制限したことにより、園児だけの可愛い踊りを多くの市民に楽しんでいただくことができました。

### 〔問題〕

第1部の踊り会場では、暑さで体調不良を起こす人が多くいました。

光化学スモッグ予報等への対応方針の参加者への周知が不十分でした。

踊りのパレードに疎密が生じ、踊り連への配置方法に課題を残しました。

5会場に分割したことにより、踊り連の移動距離が長くなり、負担がかかりました。

第1部の豊田大橋方面は観客が少なく、賑わいに欠けました。

ペDESTリアンデッキは、表彰式の会場としては狭すぎました。

アンケートの結果では、中心市街地在住者には評価されましたが、踊り連には「踊る時間が短い」などの理由で良い評価が得られませんでした。

管理しやすい直線会場にしましたが、交通規制区域が広がり、多額の警備費がかかりました。

## 花火大会

### 〔効果〕

オープニングを簡素化することで終了時間を10分早めることができました。防護網の設置と事前アナウンス、消防団員の協力により、ナイアガラ大瀑布に飛び込む危険行為をなくすことができました。

警備員の充実により、けが人もなく、スムーズな観客の移動を誘導できました。

### 〔問題〕

花火大会一週間前の白浜公園内自由席の場所取りについて、開始時の混乱を防

止し、安全を確保するために警備員等を配置しましたが、問題が払拭できませんでした。

防護網の設置や観客誘導のための警備員の増強により、多額の費用がかかりました。

風向きの影響で、豊田スタジアム内に大量の花火ガラが散乱し、迷惑をかけました。

## (2) 試行結果を踏まえた今後のまつりのあり方

第38回までの豊田おいでんまつりが担ってきた効用、第39回の試行を通じて得られた効果及び問題点から、今後のまつりのあるべき姿、すなわち、質の向上を図り、更に魅力あるまつりとするためのテーマを導きました。



### 新たな開催趣旨

『市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えるふるさとのまつりを共働の力で育てます。そして、活力ある豊かな観光交流都市・豊田市のまちづくりに貢献します。』

### まつりの開催テーマ

『笑顔になれる 笑顔に逢える ふるさとのまつり』

参加のしやすさと魅(見)せる踊りを両立したまつり

日本一質の高い花火が見られるまつり

市民・事業者・行政の共働によるまつり

モラルの高い安全・安心なまつり

いつまでも継承され、市民の自慢となるまつり



# どのようにして実現するのか

目指すまつりの将来像と現実との隔たりは小さくないが、共働の力をもってすれば、たやすかろう。市民が自慢できるまつりへの5つの提言





## 4. どのようにして実現するのか

質を向上させ、さらに魅力あるおいでんまつりを育てていくには、今後どのようなことに重点を置いて取り組むべきか、まつりの方向性を5つのテーマに沿って提言します。

### 提言1

#### 参加のしやすさと魅(見)せる踊りを両立したまつり

- (1) 参加型の楽しい地域のまつり
- (2) 観客を魅了する中心市街地のまつり
- (3) 適切な時期と時間に開催されるまつり

### 提言2

#### 日本一質の高い花火が見られるまつり

- (1) 更なる質の向上を目指した花火大会
- (2) 安全で快適な花火大会
- (3) 適切な時期に開催される花火大会

### 提言3

#### 市民・事業者・行政の共働によるまつり

- (1) 市民が参画するまつり
- (2) 機動性のある実施母体によるまつり
- (3) まちづくりに貢献できるまつり

### 提言4

#### モラルの高い安全・安心なまつり

- (1) 安全・安心なまつり
- (2) モラルが高く自己責任あるまつり
- (3) 環境にやさしいまつり

### 提言5

#### いつまでも継承され、市民の自慢となるまつり

- (1) 応援したくなるまつり
- (2) 子どもたちに受け継がれていくまつり
- (3) 市民の自慢となるまつり

### (1) 参加型の楽しい地域のまつり

#### 全市域への拡大

平成17年の合併により市域が大きく拡大しました。おいでんまつりを地域に広げ、より身近な市民まつりとするにより、まつりを通じた一体感の醸成が期待されます。



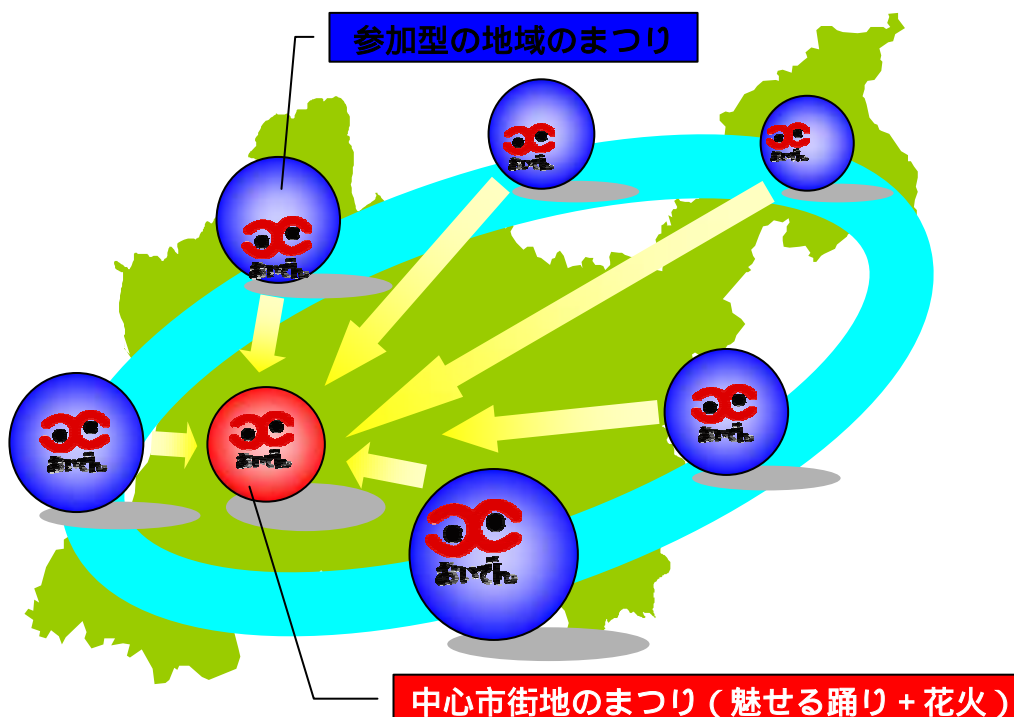
#### 市民の手づくりによるまつり

各地域に、実施主体となる組織を市民の手で作し、特色ある地域のまつりを開催します。そして、実施主体は地域のみ限定せず、学校団体や事業者など責任を持って運営にあたることのできる、意欲ある団体を広く募ることが求められます。

#### 誰もが楽しめ、地域色のあるまつり

誰もが楽しめる参加型のおいでんまつりを継承し、地域の特色を盛り込んだまつりとして成熟していくことが期待されます。そして、それぞれの取り組みを報告しあう勉強会を設けるなど、互いに魅力を高めあうことが求められます。また、雨天の対応など不測の事態への備えも必要です。

### 新たなおいでんまつりの体系イメージ





## (2) 観客を魅了する中心市街地のまつり

### 活力ある豊田市を象徴するまつり

各地域で気軽に楽しめる、参加型のおいでんまつりを開催することにより、中心市街地でのまつりを、新豊田市のシンボルとしての役割を担うまつりに特化することができます。おいでんまつりの総決算となる、中心市街地でのまつりは、市外からの注目も高く、活力ある豊田市を象徴するまつりとして育てなければなりません。



### 魅(見)せるまつり

中心市街地のまつりは、地域のまつりで選抜された踊り連の披露の場となります。個性的でエネルギーッシュな踊りや統一の美などで魅せるまつりとするのが求められ、そのために必要な演出にも配慮が必要です。そして、観光客の誘致や商業振興にも貢献できるまつりにしなければなりません。

### 管理の行き届くコンパクトな会場

魅(見)せるまつりとしての十分な規模が求められる一方、管理の行き届くコンパクトな会場設定が必要となります。また、地域活性化の起爆剤としてのまつりの効用にも配慮されなければなりません。会場は、社会資本の整備、まちづくりの発展に伴い、最も適切な位置や規模を地域住民や関係機関と十分協議して決定することが求められます。

## (3) 適切な時期と時間に関催されるまつり

### 地域のまつりの開催時期と時間

参加型の地域のまつりは、既存の各地域の夏まつりなどとの関係や子どもの参加も視野に入れ、市民が最も参加しやすい時期と時間に配慮する必要があります。また、おいでんまつりとしてのまとめりや盛り上げの効果などから、1ヶ月程度の期間に集中して開催すべきです。

### 中心市街地のまつりの開催時間

中心市街地のまつりの開催時間は、会場周辺の生活や子ども達の参加などに配慮する必要があります。また、昼間に開催する場合は、熱中症などの危険や光化学スモッグの発生などに対し十分な備えが必要です。できれば、夕方から夜間にかけての開催が望まれます。



**(1) 更なる質の向上を目指した花火大会**

おいでんまつり花火大会は、会場条件や打上げの内容において全国的に評価が高く、人気を集めています。これは、国内屈指の技術を持つ花火師で構成されていることによるものです。打上げ玉数や奇をてらった演出に頼ることなく、花火そのものの質の高さ、美しさで日本一の花火大会となるよう努めなければなりません。そして、この大会でしか見られない花火の魅力を広くPRするとともに、ショーとして楽しめる花火大会に必要な音響やアナウンスなどの演出の充実を図ることが求められます。

**(2) 安全で快適な花火大会****事故のない花火大会**

事故のない安全な花火大会を行うには、製造・打上げ技術の高い煙火業者である、日本煙火芸術協会会員主体の構成を維持する必要があります。また、安全を最優先した会場設営、プログラム構成や、消防署や警察署などの関係機関との連携強化に努める必要があります。

**観覧環境の向上**

花火大会の観覧については、招待者席、協賛者席と自由場所取りに分かれています。安全性や公平性の観点から、観覧席の販売についても検討し、安全で快適な観覧環境づくりが望まれます。

**(3) 適切な時期に開催される花火大会**

開催日は、全国各地の花火大会の日程や気象を考慮するとともに、おいでんまつりの全体日程の中で考える必要があります。地域のまつり、中心市街地のまつりで踊りを楽しみ、まつりのフィナーレを最も感動的に花火で演出する流れが理想的と考えられます。

### (1) 市民が参画するまつり

#### パートナーシップによるまつり

おいでんまつりの意義が、「市民が楽しみ元気になるまつり」、「市民の連帯意識とまちづくりへの貢献」、「都市の魅力の発信と市民の誇り」に至ることを確認しました。すなわち、市民・事業者・行政それぞれがまつりの効用を享受しています。これまでのように、行政が一方向的に与えるまつりではなく、今後は、市民・事業者・行政のパートナーシップ、すなわち 共働 によるまつりを目指す必要があります。



共働：市民と市がパートナーとして共に働き行動することで、協力して働く「協働」と区別する豊田市独自の概念。

#### 情報の共有と多様な意見の反映

毎年、多くの人々がおいでんまつりを待ち望んでいます。開催日程やルール、募集案内など、おいでんまつりに関する情報は、ホームページなどを通じてできるだけ早く、継続的に発信することが必要です。そして、アンケート調査などにより多様な意見の収集に努め、まつりの企画に反映することが求められます。



#### おいでんクリーンキャンペーン

出演者も観客も踊り・花火をもっと楽しむために

- ゴミを出さない工夫しましょう♪
- ゴミは分別してリサイクルしましょう♪
- 販売店容器回収にご協力ください♪



## (2) 機動性のある実施母体によるまつり

### 機動性のあるまつりの実施母体

おいでんまつりの実施母体となっている実行委員会や部会組織は、市民・事業者・行政の共働によるまつりを念頭に、できるだけコンパクトで機動性のある組織に改めていく必要があります。そして、新たな実施母体は、市民・団体・企業等「民」が主体性を持って参画できる仕組み、構成に移行し、真の市民まつりを目指すことが望まれます。

また、地域のおいでんまつりの運営組織とまつり全体を統括する実施母体との連携にも配慮する必要があります。

### おいでんサポーターの必要性

まつりが発展し、永く市民に愛されるためには、実施母体をサポートするサポーターやファンを募り、まつりのサポート体制を整えることが必要です。まつり業務のボランティアから企画への参画など、「創る参加者」の拡大が共働のまつりづくりに求められます。

## (3) まちづくりに貢献できるまつり

### まちづくりや商業振興に結びつくまつり

おいでんまつりは、多くの参加者や観客が訪れ、まちづくりや商業振興と深く結びつきます。「豊田市中心市街地活性化基本計画」では、豊田市の軸となるスタジアムアベニュー（毘森公園～中央公園）を創造していくことを目標に掲げており、おいでんまつりの会場とも重なります。商業者を中心に、まつりを中心市街地の活性化に生かす取り組みが求められます。

また、こうした取り組みは、地域で開催されるおいでんまつりでも同様であり、市域全体でまつりを活用した商業活性化の取り組みが行われることにより、賑わいや活気のあるまちづくりが可能となります。



### 観光振興に結びつくまつり

「豊田市観光交流基本計画」では、「都心地区のまちなか観光の魅力アップ」が重点プロジェクトの一つに位置づけられており、その施策として「おいでんまつりのステップアップ」が計画事業として掲げられています。また、地域のまつりも、合併地域を中心に観光振興に結びつける取り組みが期待されます。

**(1) 安全・安心なまつり****安全・安心対策の必要性**

おいでんまつりが誰にでも親しまれるまつりであるためには、「安全で安心なまつり」でなければなりません。何も起こらないことが当たり前であって、万一の事態に備えた万全な体制で行われるまつりでなければ、決して楽しむことはできません。

また、光化学スモッグを含む気象、食中毒などの情報を参加者や観客にタイムリーに提供するなど、事故の予防に努めることも必要です。

**自主警備を基本とした安全対策を構築**

交通規制誘導や雑踏整理など、役割を明確にした警備スタッフの配置による、自主警備を基本とした警備体制を整えなければなりません。そのため主催者は、警察、警備会社、消防、医療機関などの関係機関との連携を図り、周到な警備計画を策定し的確で早い対応ができるようにする必要があります。

**(2) モラルが高く自己責任あるまつり****モラルの高いまつり**

まつりの質の向上、安全で安心なまつりを目指すには、「モラルの高いまつり」であることが必要です。例えば、踊り連の飲酒の制限や、踊りの衣装は風紀を乱さない範囲にすることもひとつの方法です。こういった主催者の意図をルール化し、参加者に事前に十分伝え、それでもなお意図的にまつりを乱す者に対しては、毅然とした態度で臨む必要があります。ルールは明確な内容で整備し、早く周知させることが重要です。スポーツ競技などと同様、おいでんまつりも決められたルールの中で行うことで、参加する人、見る人、支える人すべてが感動できるまつりになると考えられます。モラルの高まりによって、過剰なルールのいらぬまつりとなることが期待されます。

**自己責任あるまつり**

踊りだけでなく、まつり全体を楽しいものとするには、踊る人、見る人、運営する人などが、それぞれの行動に責任を持たなければなりません。他人任せで、自分だけが楽しいまつりにはしてはいけません。まつりに関わるすべての人が、まつりの創り手としての参画意識を持つことが重要です。そのためには、市民・事業者・行政の共働のまつりを早期に構築し、幅広い市民の手による企画・運営が実現される必要があります。

### 公平で厳正な踊りの審査

おいでんまつりの魅力のひとつに、競う楽しさがあります。地域のまつりにおける踊り連の選抜や、中心市街地のまつりにおける、「おいでん大賞」などの審査は、公平で厳正な審査が求められます。

一方、過度の競技化は、華美で参加コストのかかるまつりの要因になりかねません。がんばったチームをみんなでたたえ、楽しい思い出づくりのための企画であるべきです。



## (3) 環境にやさしいまつり

### 住民生活への配慮

まつり会場周辺に暮らす人にも愛されるまつりでなければ、まつりの意義が達成できないばかりか、継続すら困難になります。踊る人、見る人の満足とともに、会場周辺住民の暮らしに十分配慮したまつり会場、開催時期や時間とする必要があります。

### クリーンキャンペーンの展開

「おいでんまつりを行うとまちがきれいになる」と言われるように、環境にやさしいまつりとすることが求められます。第39回のおいでんまつりでは「おいでんクリーンキャンペーン」を行い、踊り参加者による会場清掃やごみの散乱防止を徹底しました。今後も観客に対し、ごみを出さない、持ち帰る、分別するなどを呼びかけるとともに、販売事業者へも容器包装の回収を働きかけるなど、環境にやさしいまつりにしていく必要があります。



**(1) 応援したくなるまつり****協賛方法の検討**

おいでんまつりの安定的な発展のためには、資金はもとより、人材、場所、物などの安定的な資本が必要です。特に根幹となる資金確保のために、新しい協賛方法を検討する必要があります。協賛活動を推進し、行政負担に頼りすぎない、持続可能なまつりの開催に努める必要があります。

**まつりの魅力向上**

協賛とは本来、趣旨に賛同して自主的に協力するものです。お付き合いや押し付け的な協賛金集めは長続きしませんし、見返りの期待につながることもあるので、改めていかなければなりません。協賛することが企業のステイタスとなる、すなわち「応援したくなる」ように、まつりの魅力を高めていかなければなりません。

**協賛範囲の拡大**

現在は花火・印刷物・グッズ・各賞への協賛が中心となっていますが、踊りや花火会場の装飾物・案内看板や、スタッフユニフォームへの協賛スペース設定など幅広くメニュー化することが求められます。また、まつり会場に広告スペースを設け、販売するなどの発想も必要です。

**活発な協賛活動の推進**

これまでの協賛依頼先は、過去の協賛実績に基づいた範囲に限られていたため、協賛額が縮小傾向にあります。市内には新しく進出した店舗や事業所も多く、新規協賛者を増やす活動を持続的に推進していくことが求められます。

**(2) 子どもたちに受け継がれていくまつり**

豊田市を代表するおいでんまつりがいつまでも継承されるように、子どもたちに受け継がれていく取り組みが重要です。子どもたちが「大人になっても参加したい」と感じるまつりは、誰からも愛され、将来に引き継がれていくはずで、リトルおいでんだけでなく、小学生や中学生も参加しやすい工夫をしたり、子どもたちが安全に楽しめるまつりづくりが必要です。

**(3) 市民の自慢となるまつり**

市内各地域で開催されるまつりを「わが地域のまつり」として、おいでんまつりを「わがまちのまつり」として、市民が内外に自慢できるよう魅力の向上に努めなければなりません。まつりの質、モラル、安全性などを高め、その魅力を全国に情報発信し、注目を集めることが重要です。そのために工夫を凝らした効果的なPRに努める必要があります。

## おわりに

豊田おいでんまつりが、豊田まつりからスタイルを一新して20年目を迎えます。都市の熟成や人々のまつりへのニーズの変化、合併によるエリアの拡大などのさまざまな変化を踏まえ、第40回以降のおいでんまつりのあるべき姿を議論してきました。

「豊田おいでんまつりへの提言」は、おいでんまつりの改革のための提案であると同時に、長い歴史の中で積み上げられてきたおいでんまつりの魅力を、改めて確認する報告書でもあります。

新しいおいでんまつりが定着するには、市民・事業者・行政の意識改革も必要であり、それにはかなりの時間と労力を要すると考えられますが、目指すまつりの姿に向かって、着実に歩を進めていかなければなりません。

この提案書が、おいでんまつりをよりよいものにしていこうとする人々のわずかばかりの指針になれば幸いです。

なお、本懇談会の研究・審議の過程でお世話になった各位に、この紙面を借りて心よりお礼申し上げます。

豊田おいでんまつり懇談会委員一同



# 資料編

## 1. 豊田おいでんまつり懇談会委員名簿

会長 副会長

	氏名	団体名・役職等
1	河木 照雄	豊田商工会議所 副会頭
2	芳村 昭人	崇化館地区会長（中区区長）
3	大内 政春	稲武商工会 副会長
4	山本 輝夫	連合愛知 豊田地域協議会
	大日方 誠（前任者）	連合愛知 豊田地域協議会
5	山本 昭信	名古屋鉄道(株) 豊田市幹事駅長
	金子 恒雄（前任者）	名古屋鉄道(株) 豊田市副幹事駅長
6	杉戸 雅典	(社)愛知県観光協会 専務理事
	清水 忠啓（前任者）	(社)愛知県観光協会 専務理事
7	杉浦 容子	豊田まちづくり(株)
8	杉本 寛文	豊田市消防団 副団長
9	鈴木 弥生	市民
10	高坪 敦子	ひまわりネットワーク(株) 指導職
11	永山 慎二	豊田ホテル旅館組合 青年部
12	丹羽 誠	(協)豊田市商店街連盟 代表理事
13	三浦 佐和子	とよた下町おかみさん会 会長
14	本藤 伸之	豊田市小中学校長会 役員
15	森 吉弘	(株)JTB中部 豊田支店 支店長
16	吉村 達也	市民
17	渡辺 美樹	桜花学園大学 観光文化学科 学生

## 2. 豊田おいでんまつり懇談会設置要綱

### 豊田おいでんまつり懇談会設置要綱

#### (設置)

第1条 豊田おいでんまつりの魅力向上について検討し、活力あふれたにぎわいのあるまちづくりを推進するため、豊田おいでんまつり懇談会（以下「懇談会」という）を設置する。

#### (組織)

第2条 懇談会は、20名以内の委員で組織する。

#### (オブザーバー)

第3条 懇談会には、オブザーバーを置くことができる。

2 オブザーバーは、懇談会の求めに応じて会議に出席し意見を述べることができる。

#### (委員の任期)

第4条 懇談会の委員の任期は2年とする。

#### (会長)

第5条 懇談会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は懇談会を招集し、これを主宰する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

#### (事務局)

第6条 懇談会の事務局は、豊田おいでんまつり実行委員会事務局（商業観光課内）に置く。

#### (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

1 この要綱は、平成18年6月1日から施行する。

### 3. 豊田おいでんまつり懇談会の公開及び会議録の公開に関する要綱

#### 豊田おいでんまつり懇談会の公開及び会議録の公開に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、豊田おいでんまつり懇談会の会議(以下「会議」という。)の傍聴及び会議録の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会議の公開)

第2条 会議は、原則公開とする。ただし、情報公開条例第7条各号に定める非公開情報を扱う場合又は懇談会の委員長(以下「委員長」という。)が非公開が適当と判断した場合は、会議の全部又は一部を非公開とすることができる。

(会議公開の周知)

第3条 会議公開の周知は、豊田市観光協会ホームページに周知事項を掲載することにより行うものとする。

(傍聴人の数)

第4条 委員長は、会場の都合により、あらかじめ会議を傍聴できる人数を定めなければならない。

(傍聴の手続)

第5条 会議を傍聴できる者は、先着順で決定するものとする。

2 会議を傍聴しようとする者は、会議開会時刻までに会場の指定の入口で自己の住所、氏名を傍聴人受付票に記入しなければならない。

(入場の禁止)

第6条 次の各号のいずれかに該当する者は、会場に入場することができない。

(1) 人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者

(2) 酒気を帯びていると認められる者

(3) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を携帯している者

(4) 笛、ラッパ、太鼓、その他の楽器の類を携帯している者

(5) 前各号に定めるもののほか、会議の円滑な進行を妨げると認められる者

(傍聴人の守るべき事項)

第7条 傍聴人は、会場においては、次の事項を守らなければならない。

(1) みだりに傍聴席を離れないこと

(2) 指示のある場合を除き発言しないこと

(3) 会場での発言に対して、拍手その他の方法で賛否を表明しないこと

(4) 談論し、放歌し、高笑い、その他騒ぎ立てないこと

(5) たすき、腕章等を着用し、又は旗、プラカード等を掲げる等示威行為をしないこと

(6) 飲食又は喫煙行為をしないこと

( 7 ) 前各号に定めるもののほか、会場の秩序を乱し、又は会議の妨げとなるような行為をしないこと

( 写真撮影、録画、録音等の禁止 )

第 8 条 傍聴人は、会場においては、写真撮影、録画又は録音等をしてはならない。ただし、委員長の許可を得た者は、この限りでない。

( 退場命令 )

第 9 条 委員長は、傍聴人がこの要綱に違反したと認めるときは、注意を与え、なお従わないときは、退場を命ずることができる。

( 会議録の作成及び公開 )

第 10 条 委員会の事務局は、会議終了後、会議録を速やかに作成しなければならない。

2 会議録は、要約表記とし委員長の確認を受けたのち、事務局に設置し一般の閲覧に供するものとする。

( 委任 )

第 11 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

## 附 則

1 この要綱は、平成 18 年 6 月 1 日から施行する。

#### 4. 豊田おいでんまつり懇談会 検討経過

回	開催日	開催場所	検討内容
1	H18年 7月20日	豊田市役所 南庁舎 52会議室	1 委嘱状交付 2 実行委員会長あいさつ 3 出席者紹介 4 会長・副会長選出 5 実行委員会長より諮問 6 議題 (1) 懇談会開催スケジュールについて (2) 豊田おいでんまつりの歴史について (3) 豊田おいでんまつりの現状について (第38回開催概要) (4) 他市のまつり視察について
7月28日～ 7月30日		第38回豊田おいでんまつり現状調査	
2	8月28日	豊田市役所 南庁舎 51会議室	1 報告 (1) 第38回実施報告 2 議題 (1) 第38回の課題について (2) アンケートの実施について
3	10月26日	豊田市役所 南庁舎 52会議室	1 報告 (1) アンケートの報告 2 議題 (1) 第39回開催方法の検討について
11月27日		中間答申	
4	H19年 2月15日	豊田市役所 西庁舎 教育委員会議室	1 報告 (1) 第39回試行案について
5	6月22日	豊田市役所 西庁舎 教育委員会議室	1 議題 (1) 第39回開催概要 (2) 第39回チェック項目について
7月7日～ 7月21日		第39回マイタウンおいでん現状調査	
7月28日～ 7月29日		第39回おいでんファイナル、花火大会現状調査	

回	開催日	開催場所	検討内容
6	9月21日	豊田市役所 南庁舎 51会議室	1 報告 (1) 第39回実施報告 2 議題 (1) 豊田おいでんまつりへの提言項目 (案)について
7	11月22日	豊田市役所 南庁舎 51会議室	1 議題 (1) 答申書(案)について (2) 第40回開催(案)について
8	12月14日	豊田市役所 南庁舎 52会議室	1 議題 答申の決定

## 諮 問 書

豊田おいでんまつり懇談会  
会 長 河木 照雄 様

豊田おいでんまつりは、活力ある都市としてのイメージアップや市民のふるさと意識の醸成など多くの効用をもたらす市民まつりに成長しました。

一方、まつりの大規模化や市民ニーズの多様化に伴い、多くの課題も併せ持つに至りました。

については、豊田おいでんまつりの魅力に更に磨きをかけ、活力溢れた賑わいのある街づくりを推進するため、豊田おいでんまつり懇談会の意見を求めます。

平成18年7月20日

豊田おいでんまつり実行委員会  
会 長 中 村 紀 世 実



# 中 間 答 申 書

豊田おいでんまつり実行委員会  
会 長 中村 紀世実 様

豊田おいでんまつり懇談会は、平成18年7月20日に諮問のありました「豊田おいでんまつりの魅力に更に磨きをかける」ことについて、検討を重ねておりますが、モラルの低下等に伴い今年度発生した諸問題に早急に対応する必要があると判断し、平成19年度の豊田おいでんまつり開催方法について、下記のとおり中間答申します。

### 記

豊田おいでんまつりは、平成元年に豊田まつりから変更され、当初の参加者は180連、約1万人だったものが18回目の今年は876連、約3万5千人と3.5倍の人たちが参加するまでになり、所期の目標どおり地域を代表する名物イベントに成長した。

しかし、時代の変化とともに参加者、観客、市民ニーズの多様化やまつりの大規模化に伴う課題も発生している。

この課題を解消し、豊田おいでんまつりの魅力に更に磨きをかけ進化させるため、第39回豊田おいでんまつりは、以下の事項について試行し、第40回豊田おいでんまつりへの飛躍につなげていくべきである。

#### 1 総踊り会場の縮小

現在の総踊り会場は、平成元年のスタート時と比較すると約3倍に拡張しており、主催者による踊り連の管理が徹底できない状態になっている。また、会場拡張に伴い交通規制による会場周辺の住民生活への支障や、騒音による影響も出ている。主催者が、安全でスムーズな運営ができ、住民生活への影響が軽減される範囲まで会場を縮小すべきである。

#### 2 予選会の実施

総踊り会場の縮小により、参加できる人が減少するため、事前に参加希望者全員を対象に予選会を開催し、総踊り当日の参加者を選定すべきである。

ただし、予選会は総踊り当日に参加できない人たちが満足できる内容とし、予選会自体が、市民にとってのおいでんまつりと言える形を目指すべきである。

### 3 総踊りをパレード形式に変更

総踊りは、現在の輪踊り形式からパレード形式に変更し、予選会通過者のみが参加できるエキシビションとして位置付けるべきである。パレード形式で実施することにより、未登録連の侵入や迷惑行為の防止にもつながり、主催者が管理しやすくなることが期待される。

### 4 総踊り開催日の短縮と開催時間の変更

現在の開催日数及び開催時間では、交通規制や騒音による会場周辺の住民生活への支障もあり、青少年の健全育成への影響が懸念されているので、開催日数を土曜日の1日とし、開催時間についても繰上げて実施すべきである。

ただし、開催日数短縮により参加できる人が減少するため開催時間を延長するなど、多くの人に楽しんでもらう配慮が必要である。

### 5 花火大会の警備員配置の見直し

年々増加する花火大会の観客を安全でスムーズに誘導するために、現在雑踏警備に配置されている警備員の配置を見直し、安全な花火大会の運営に一層の配慮を行うべきである。

平成18年11月27日

豊田おいでんまつり懇談会  
会長 河木 照雄

## 7. 豊田おいでんまつりのあしあと

第1回 豊田まつり	昭和43年8月2日(金)～4日(日)
	明治100年を記念し「天王・扇祭り」の日程に合わせて開催 豊田市観光協会主催 市民盆踊り大会 ミス豊田発表会・パレード 花火大会
第2回 豊田まつり	昭和44年8月1日(金)～3日(日)
	市民盆踊り大会 小中学生の作品展 各県人会による芸能発表大会 花火大会
第3回 豊田まつり	昭和45年10月1日(木)～4日(日)
	拳母祭りと統一して秋まつりとなる 山車曳き 豊田音頭発表大会(三沢あけみ) 花火大会
第4回 豊田まつり	昭和46年10月8日(金)～10日(日)
	中日新聞社、東海テレビ放送を主催に加える 中日機祝賀飛行(花束投下) ミス豊田オープンカー・装飾自動車パレード 山車曳き 花火大会


### 昭和47年は47災害(集中豪雨被害)のため全面中止

第5回 豊田まつり	昭和48年10月4日(木)～8日(月)
	愛知県警音楽隊演奏 風船2,000個大空へ 山車曳き ちびっこカーニバル 怪獣・まんがパレード 花火大会雨天順延
第6回 豊田まつり	昭和49年8月1日(木)～4日(日)
	拳母祭りと分離し夏まつりとなる 市民踊大会(駅前通り) 夜店広場 仮装コンクール 花火大会
第7回 豊田まつり	昭和50年8月1日(金)～3日(日)
	世界の都市交通の映画会 市民民踊大会 花火大会仕掛12基 打上げ800発 中国花火50発
第8回 豊田まつり	昭和51年7月30日(金)～8月1日(日)
	市制施行25周年記念大会 市民民踊大会 全国有名民踊行列 中日ミスカメラ特別撮影会 壮年ソフトボール大会 相撲大会 花火大会 400mの大瀑布登場 仕掛13基 打上げ2,000余発
第9回 豊田まつり	昭和52年8月5日(金)～7日(日)
	ちびっこ・オープン・カーニバル 郷土民踊特別披露 拳母まつり鍛帖展示会 市民民踊大会 花火大会仕掛13基 打上げ2,000余発

第10回 豊田まつり	昭和53年8月4日(金)～6日(日)
	美里幼鼓笛隊・市消防音楽隊の開幕市中パレード 阿波踊り特別披露 市民民踊大会 花火大会仕掛16基 打上げ2,000余発 400m大瀑布と七州城
第11回 豊田まつり	昭和54年7月27日(金)～29日(日)
	名鉄豊田新線開通(29日)に合わせて開催を1週間繰り上げ 愛知・静岡・福井県各県警音楽隊と市消防音楽隊による街頭パレード 市民民踊大会 花火大会仕掛17基 打上げ3,000余発 400m大瀑布と新線電車
第12回 豊田まつり	昭和55年8月1日(金)～3日(日)
	愛知県警察音楽隊によるドリル演奏 市民民踊大会・仮装コンクール 花火大会仕掛16基 打上げ3,000余発 400m大瀑布
第13回 豊田まつり	昭和56年7月30日(木)～8月2日(日)
	市制30周年記念大会レディース豊田8名選出 市民民踊大会 鞍ヶ池水上花火カーニバル 花火大会仕掛24基 打上げ6,000余発 600m大瀑布とオマー 全国有名花火師による超大型スターメイン6基
第14回 豊田まつり	昭和57年7月30日(金)～31日(土)・8月6日(金)
	市民民踊大会 8月1日、8月3日が雨天のため花火大会が8月6日まで順延 花火大会仕掛17基 打上げ3,000余発 600m大瀑布 全国有名花火師による超大型スターメイン3基
第15回 豊田まつり	昭和58年8月5日(金)～7日(日)
	豊田市を主催に加える 弟子乗り 豊南太鼓 市民民踊大会 花火大会仕掛23基 打上げ4,000余発 600m大瀑布 全国有名花火師による超大型スターメイン5基
第16回 豊田まつり	昭和59年8月3日(金)～5日(日)
	人口30万人達成記念式 市民民踊大会 郷土のみやげ品 アイディア募集・表彰式 エイサー踊り 花火大会仕掛22基 打上げ5,000余発 600m大瀑布 全国有名花火師による超大型スターメイン5基 日本煙火芸術協会特別作品5号100玉
第17回 豊田まつり	昭和60年8月2日(金)～4日(日)
	豊田まつりシンボルマーク決まる トヨタ自動車(株)バトンクラブ&吹奏楽部初参加 市民民踊大会 花火大会仕掛21基 手筒1基 打上げ5,000余発 600m大瀑布 全国有名花火師による超大型スターメイン5基 日本煙火芸術協会特別作品5号100玉

<p>第18回 豊田まつり</p>	<p>昭和61年8月1日(金)～3日(日) 市消防音楽隊・美里幼稚園・トヨタ自動車(株)吹奏楽の開幕 市中パレード 氷の大彫刻実演 第1回豊田ねぶた引き回し 豊田まつりを考える会 市民民踊大会 花火大会仕掛 25基 手筒20本 打上げ5,000余発 全国有名花火師による 超大型スターメイン5基 日本煙火芸術協会特別作品5号100玉 8号21玉</p>
<p>第19回 豊田まつり</p>	<p>昭和62年7月31日(金)～8月2日(日) はりぼて引き回し11基 市民民踊大会 花火大会仕掛 26基 手筒20本 打上げ5,000余発 全国有名花火師による 超大型スターメイン5基 日本煙火芸術協会特別作品5号100玉 8号21玉</p>
<p>第20回 豊田まつり</p>	<p>昭和63年8月5日(金)～7日(日) 豊田まつり第20回記念大会 リバーサイドコンサート (白浜公園)ラ・ムー&amp;今井麻希子 東海テレビ公開録 画8月12日放送 豊田はりぼて行列7基 おみこし大会 23基 市民民踊大会 花火大会仕掛27基 手筒20本 打上げ6,000余発 全国有名花火師による超大型スター メイン5基 日本煙火芸術協会特別作品5号100玉 8 号21玉 豊田まつりの見直し 豊田まつり懇談会より答申書</p>
<p>第21回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成元年7月28日(金)～30日(日) 「豊田まつり」から「豊田おいでんまつり」へ変更 開催日毎年7月最終金・土・日に固定 橋本舞子歌唱による 総踊り開始 おいでん踊りモデル連による踊りのリード おいでん踊りコンテンツ 踊り参加連 金/80連4,500 人 土/100連5,500人 花火大会仕掛17基 スター メイン21基</p>
<p>第22回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成2年7月27日(金)～29日(日) 橋本舞子歌唱による総踊り 総踊り参加連 金/107連 4,857人 土/113連5,713人 花火大会仕掛14基 スターメイン18基 打上げ約13,000発</p>
<p>第23回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成3年7月26日(金)～28日(日) 総踊り参加連 金/105連5,894人 土/134連 7,568人 花火大会仕掛19基 スターメイン29基 打上げ約15,000発 (株)磯谷煙火店によるメロディ花火 登場 メロディ花火、メロディスターメインは(株)磯谷煙 火店の登録商標</p>

第24回 豊田おいでんまつり	平成4年7月24日(金)～26日(日)
	メインDJのカウントダウンによる総踊り開始 総踊り参加連 金/134 連 7,149 人 土/175 連 9,000 人 おいでん昼おどり 拳母小学校始め 11 連 900 人参加 花火大会仕掛17基 スターメイン30基 打上げ約 17,000 発
第25回 豊田おいでんまつり	平成5年7月23日(金)～25日(日)
	とよたミュージックバトル 総踊り参加連 金/153 連 8,774 人 土/215 連 12,392 人 花火大会仕掛19基 スターメイン29基 打上げ約 17,000 発
第26回 豊田おいでんまつり	平成6年7月29日(金)～31日(日)
	おいでんテーマソングコンテスト入賞者3組による歌唱で スタート 総踊り参加連 金/182 連 9,790 人 土/ 273 連 15,009 人 花火大会仕掛20基 スターメイン 29基 打上げ約 17,000 発 花火事故26人負傷
第27回 豊田おいでんまつり	平成7年7月28日(金)～30日(日)
	総踊り参加連 金/218 連 11,430 人 土/305 連 16,079 人 花火大会仕掛19基 スターメイン29基 打上げ約 17,000 発
第28回 豊田おいでんまつり	平成8年7月26日(金)～28日(日)
	総踊り参加連 金/293 連 14,512 人 土/263 連 15,298 人 花火大会仕掛20基 スターメイン33基 打上げ約 17,000 発
第29回 豊田おいでんまつり	平成9年7月25日(金)～27日(日)
	総踊り参加連 金/316 連 15,280 人 土/台風9号に より中止 総踊りの時間を9時30分から9時に短縮 花火大会仕掛21基 スターメイン35基 打上げ約 17,000 発 ごみ4分別(燃やすごみ・ビン・缶・ペット ボトル)の徹底
第30回 豊田おいでんまつり	平成10年7月24日(金)～26日(日)
	第30回記念大会 昼イベントとしてカーライフアッ ションを実施 総踊り参加連 金/312 連 14,900 人 土/ 354 連 17,933 人 花火大会仕掛19基 スターメイン 29基打上げ約 17,000 発 花火による豊田大橋ライト アップ開始

<p>第31回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成11年7月23日(金)～25日(日)</p> <p>総踊り参加連 金/317 連 13,679 人 土/465 連 20,618 人 花火大会仕掛18基 スターメイン34基 打上げ約 16,000 発 9業者による創作花火1分勝負の 開始 市民協賛スターメインの実施</p>
<p>第32回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成12年7月28日(金)～30日(日)</p> <p>総踊り参加連 金/407 連 16,298 人 土/402 連 19,997 人 花火大会仕掛19基 スターメイン29基 打上げ約 17,000 発</p>
<p>第33回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成13年7月27日(金)～29日(日)</p> <p>総踊り参加連 金/421 連 16,625 人 土/411 連 19,647 人 花火大会仕掛19基 スターメイン29基 打上げ約 17,000 発</p> <p>市制50周年記念おいでんまつりシンボルマーク制定 おいでんまつりのシンボルマークは、市制50周年を記 念して全国に募集して平成13年7月に制定。1,551 件の応募作品の中から岐阜市の高城幸子さんのデザイン が採用されました。</p> <p>【おいでんまつりシンボルマーク】</p> 
<p>第34回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成14年7月26日(金)～28日(日)</p> <p>おいでんまつりシンボルマーク使用開始</p> <p>総踊り参加連 金/438 連 17,129 人 土/376 連 20,536 人 花火大会仕掛14基 スターメイン30基 打上げ約 16,000 発</p>
<p>第35回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成15年7月25日(金)～27日(日)</p> <p>総踊り参加連 金/510 連 17,519 人 土/424 連 20,816 人 花火大会仕掛13基 スターメイン27基 打上げ約 15,000 発</p>
<p>第36回 豊田おいでんまつり</p>	<p>平成16年7月23日(金)～25日(日)</p> <p>総踊り参加連 金/525 連 17,570 人 土/427 連 17,511 人 花火大会仕掛12基 スターメイン27基 打上げ約 15,000 発</p>

第37回 豊田おいでんまつり	平成17年7月29日(金)～31日(日)
	審査会の実施 総踊り参加連 金/312 連 12,352 人 土/475 連 17,668 人 花火大会仕掛12基 スターマイン27基 打上げ約15,000発
第38回 豊田おいでんまつり	平成18年7月28日(金)～29日(日)
	豊田おいでんまつり懇談会の設置 総踊り参加連 金/377 連 13,471 人 土/458 連 17,564 人 花火大会仕掛11基 スターマイン26基 打上げ約15,000発
第39回 豊田おいでんまつり	マイタウンおいでん 平成19年7月7日(土) ～21日(土)
	おいでんファイナル 平成19年7月28日(土) 花火大会 平成19年7月29日(日)
	豊田おいでんまつり懇談会からの中間答申による試行 総踊り参加連 マイタウンおいでん/17会場 253連 8,561人 おいでんファイナル/228連 9,262人 花火大会仕掛11基 スターマイン23基 打上げ約 15,000発



## 8 . 第 3 6 回豊田おいでんまつり経済波及効果試算報告書

### ( 1 ) まつりなどイベントの経済波及効果について

本章では豊田おいでんまつりの経済波及効果を試算する。以下ではまず、まつりなどのイベント開催による経済波及のしくみと、経済波及効果を定量的に算出する手法のひとつである産業連関分析について簡単に説明する。

#### 直接的な消費支出の増加

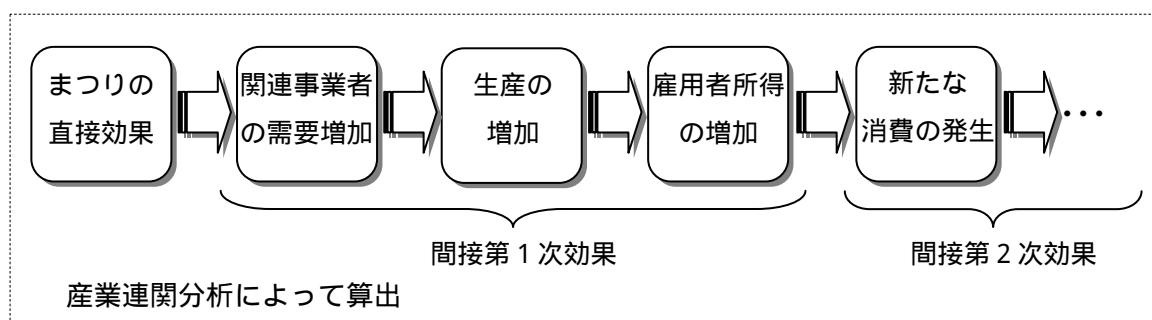
まつりを開催することによって、直接的にはまず、主としてまつりへの参加者、観客、事務局の3者から消費支出が発生する。例えば、参加者は準備のため衣装などを購入し、まつりの開催期間中も交通、宿泊、飲食など様々な消費をする。観客も同様に会場への交通、飲食、お土産の購入などの消費をする。また、事務局は企画や会場の設営などの準備に支出する。以上のような、まつりの実施にともない直接増加するこうした消費は、直接効果と呼ばれる。

#### 経済波及効果

まつりの直接効果は様々な産業に波及していく。下図のように、直接効果にもなって増えた消費(衣装の購入など)は、上流過程の関連事業者(化学工業者さらには石油業者など)の需要を次々と増加させ、新たな生産の増加を生み出す(間接第1次効果)。一方、この過程では各産業の事業者の雇用者所得も増加する。そのため、そこからまた新たな消費ひいては生産も発生する(間接第2次効果)。このプロセスは、原理上は際限なく続く。

経済波及効果は、この直接効果と間接効果(間接効果は無限次まで想定しうるが通常は第2次まで)を合計したものである。

#### 経済波及のしくみ



#### 産業連関分析

経済波及効果を定量的に算出する手法のひとつとして、国や各県が原則5年毎に作成する産業連関表を利用した産業連関分析がある。

本試算においてもこの産業連関分析によって豊田おいでんまつりの経済波及効果を試算する。

( 2 ) 第 3 6 回豊田おいでんまつりの経済波及効果試算

前提条件

前記したように、経済波及効果の試算には直接効果に関する前提条件の設定が必要である。概略は下表の通りである。

表中で「愛知県内における直接効果」とは、直接効果合計のうち愛知県外から移輸入されると想定される分を除いたものの合計である。これは産業連関表に基づいて算出している。例えば衣装の場合、愛知県では繊維製品の2割強が輸入されると産業連関表から読み取られるため、この分を除外したものとなる。

本試算では愛知県内における経済波及効果を対象とするため、この約9.0億円(詳細は次ページ表中の「直接効果」の「生産」欄参照)が実質的な前提条件となる。

直接効果に関する前提条件

直接効果合計	愛知県内における直接効果
約13.2億円	約9.0億円

試算結果

上記の前提条件に基づいて、第36回豊田おいでんまつりの開催が愛知県に与えた経済波及効果を試算した結果は、下表(要約)の通りである。

産業連関分析による経済波及効果は、生産誘発額の直接効果と間接第1次効果及び間接第2次効果の合計を指すことが多いが、これは約16.3億円である。またこれにともない、全体として約150人の雇用が発生していると試算される。なお、経済波及効果の詳細は次ページに掲げている。

第36回豊田おいでんまつり開催による愛知県内における経済波及効果(要約)

生産誘発額	付加価値	雇用
約16.3億円	約9.7億円	約150人

### 第36回豊田おいでんまつり開催による愛知県内における経済波及効果（詳細）

単位：金額（百万円） 雇用（人）

愛知産業連関表 38部門分類	経済効果(合計)												参考		
	直接効果			間接第1次効果			間接第2次効果			間接第3次効果					
	生産	付加価値	雇用	生産	付加価値	雇用	生産	付加価値	雇用	生産	付加価値	雇用	生産	付加価値	雇用
合計	1,630.5	965.5	147	897.3	516.1	97	346.2	200.2	23	387.0	249.3	27	130.4	84.0	9
1農業	32.3	18.3	10	18.9	10.7	6	9.6	5.4	3	3.8	2.2	1	1.3	0.7	0
2林業	0.2	0.1	0	0.0	0.0	0	0.1	0.1	0	0.1	0.1	0	0.0	0.0	0
3漁業	1.5	0.9	0	0.0	0.0	0	1.0	0.6	0	0.4	0.3	0	0.1	0.1	0
4鉱業	0.5	0.3	0	0.0	0.0	0	0.3	0.2	0	0.2	0.1	0	0.1	0.0	0
5食料品	143.3	59.8	6	97.0	40.5	4	25.7	10.7	1	20.6	8.6	1	6.9	2.9	0
6繊維製品	15.0	5.5	2	11.1	4.1	1	1.6	0.6	0	2.4	0.9	0	0.8	0.3	0
7パルプ・紙・木製品	8.2	3.4	0	0.0	0.0	0	5.9	2.4	0	2.3	0.9	0	0.8	0.3	0
8化学製品	4.2	1.6	0	0.0	0.0	0	2.1	0.8	0	2.2	0.8	0	0.7	0.3	0
9石油・石炭製品	7.5	4.1	0	0.0	0.0	0	4.8	2.6	0	2.7	1.5	0	0.9	0.5	0
10プラスチック製品	6.6	2.4	0	0.0	0.0	0	4.5	1.7	0	2.0	0.8	0	0.7	0.3	0
11陶磁器	0.8	0.4	0	0.0	0.0	0	0.5	0.3	0	0.2	0.1	0	0.1	0.0	0
12その他の窯業・土石製品	1.3	0.7	0	0.0	0.0	0	0.8	0.4	0	0.5	0.2	0	0.2	0.1	0
13鉄鋼	1.3	0.4	0	0.0	0.0	0	0.8	0.3	0	0.5	0.2	0	0.2	0.1	0
14非鉄金属	0.4	0.1	0	0.0	0.0	0	0.2	0.1	0	0.2	0.1	0	0.1	0.0	0
15金属製品	4.2	2.1	0	0.0	0.0	0	3.0	1.5	0	1.2	0.6	0	0.4	0.2	0
16一般機械	2.0	0.9	0	0.0	0.0	0	1.6	0.7	0	0.3	0.1	0	0.1	0.0	0
17電気機械	3.3	1.3	0	0.0	0.0	0	1.1	0.4	0	2.2	0.9	0	0.7	0.3	0
18自動車	14.0	3.3	0	0.0	0.0	0	4.0	0.9	0	10.1	2.4	0	3.4	0.8	0
19航空機	0.1	0.0	0	0.0	0.0	0	0.1	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
20その他の輸送機械	0.8	0.3	0	0.0	0.0	0	0.6	0.2	0	0.2	0.1	0	0.1	0.0	0
21精密機械	0.2	0.1	0	0.0	0.0	0	0.1	0.0	0	0.1	0.1	0	0.0	0.0	0
22その他の製造工業製品	21.5	10.7	1	4.9	2.5	0	9.8	4.9	1	6.8	3.4	0	2.3	1.1	0
23建設	10.5	5.8	1	0.0	0.0	0	6.6	3.6	1	3.9	2.2	0	1.3	0.7	0
24電力・ガス・熱供給	32.8	15.7	0	0.0	0.0	0	19.6	9.4	0	13.2	6.3	0	4.4	2.1	0
25水道・廃棄物処理	10.9	7.2	0	0.0	0.0	0	6.3	4.2	0	4.5	3.0	0	1.5	1.0	0
26商業	264.9	182.0	32	152.2	104.6	18	45.4	31.2	5	67.3	46.2	8	22.7	15.6	3
27金融・保険	48.7	33.4	3	0.0	0.0	0	30.6	21.0	2	18.0	12.4	1	6.1	4.2	0
28不動産	110.9	98.3	1	12.3	10.9	0	17.1	15.2	0	81.5	72.3	1	27.5	24.3	0
29運輸	172.8	88.6	9	94.6	48.5	5	48.5	24.9	3	29.7	15.2	2	10.0	5.1	1
30通信・放送	29.7	21.5	1	0.0	0.0	0	18.0	13.1	1	11.6	8.4	0	3.9	2.8	0
31公務	25.0	17.4	2	22.8	15.9	2	0.8	0.6	0	1.3	0.9	0	0.4	0.3	0
32教育・研究	15.7	12.0	1	0.0	0.0	0	2.5	1.9	0	13.1	10.0	1	4.4	3.4	0
33医療・保健・社会保障	11.4	6.7	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	11.4	6.7	1	3.8	2.2	0
34その他の公共サービス	7.8	5.2	1	1.0	0.6	0	2.1	1.4	0	4.7	3.1	1	1.6	1.1	0
35対事業所サービス	163.6	96.0	12	92.1	54.1	7	53.9	31.6	4	17.6	10.3	1	5.9	3.5	0
36对个人サービス	443.8	254.4	61	390.3	223.7	54	6.5	3.8	1	47.0	26.9	6	15.8	9.1	2
37事務用品	3.9	0.0	0	0.0	0.0	0	3.1	0.0	0	0.9	0.0	0	0.3	0.0	0
38分類不明	9.0	4.7	0	0.0	0.0	0	6.8	3.6	0	2.2	1.2	0	0.7	0.4	0
合計	1,630.5	965.5	147	897.3	516.1	97	346.2	200.2	23	387.0	249.3	27	130.4	84.0	9

## 9. 第39回豊田おいでんまつり試行概要

### 1. マイタウンおいでん

#### (1) 開催概要

参加者数：17会場、253連、8,561人

参加母体：

学 校 等	35 連	13.8%
職 場 の 仲 間	57 連	22.5%
各 種 団 体	46 連	18.2%
そ の 他	115 連	45.5%

市外参加連：名古屋（4連） 岡崎市（4連） 三好町（4連）  
 その他県内（7連） 県外（1連） 計 20連

#### (2) 開催実績

日	会 場	主 催	観客数	参加連 参加者	ファイナル 参加連数		備考
					1部	2部	
7(土)	三河高原 キャンプ村	下山商工会	100	4 128		3 102	
7(土)	足助宮町駐車場	足助おいでん運営委員会	500	6 264	1 80	4 152	
14(土)	梅坪小学校 グラウンド	梅坪台地区コミュニ ティ会議		10 429	4 166	6 263	中止 抽選
14(土)	中京大学豊田 キャンパス	第14回中京大学祭 豊田実行委員会	30	9 176	2 40	4 143	会場 変更
14(土)	上郷交流館 グラウンド	マイタウンおいでん 上郷実行委員会		14 467	5 181	7 237	中止 抽選
14(土)	大林公園	「ほーい おいでん 大林」実行委員会		8 353		8 263	中止 抽選
14(土)	フォレストヒルズ 芝生広場	マイタウンおいでん 松平実行委員会	1,000	17 423	4 195	9 233	会場 変更
14(土)	平山グラウンド	豊南おいでん実行委 員会	30	5 200	1 20	4 180	会場 変更
14(土)	豊田スタジアム	マイタウンおいでん IN 豊スタ実行委員会	1,000	70 2775	30 1149	24 872	
14(土)	若林駅西側公園	エメラルドたかおか 商店街(協)		17 549	8 245	8 283	中止 抽選
21(土)	ギャザ前広場	IYOIYO おいでん実 行委員会	300	21 732	8 325	8 235	
21(土)	猿投コミセン グラウンド	マイタウンおいでん 猿投実行委員会	200	18 738	7 252	5 259	会場 変更
21(土)	永覚新町 ふれあい広場	永覚新町商店街(振)	700	11 287	1 20	7 228	
21(土)	稲武福祉センター 多目的広場	マイタウンおいでん 稲武実行委員会	300	3 71		2 51	
21(土)	第2大林 グラウンド	みゆきサマ-フェスタおい でん実行委員会	1,000	5 111	2 40	3 71	会場 変更
21(土)	藤岡運動広場	藤岡観光協会	20	10 258	4 117	5 154	会場 変更
21(土)	トヨタ元町工場	トヨタ自動車(株)元町 工場	6,000	25 600	4 93	3 63	
計			12,000	253 8,561	78 2,806	108 3,899	

## 2. おいでんファイナル

### (1) 開催概要

開催日時：7月28日(土) 午後1時30分～午後7時30分

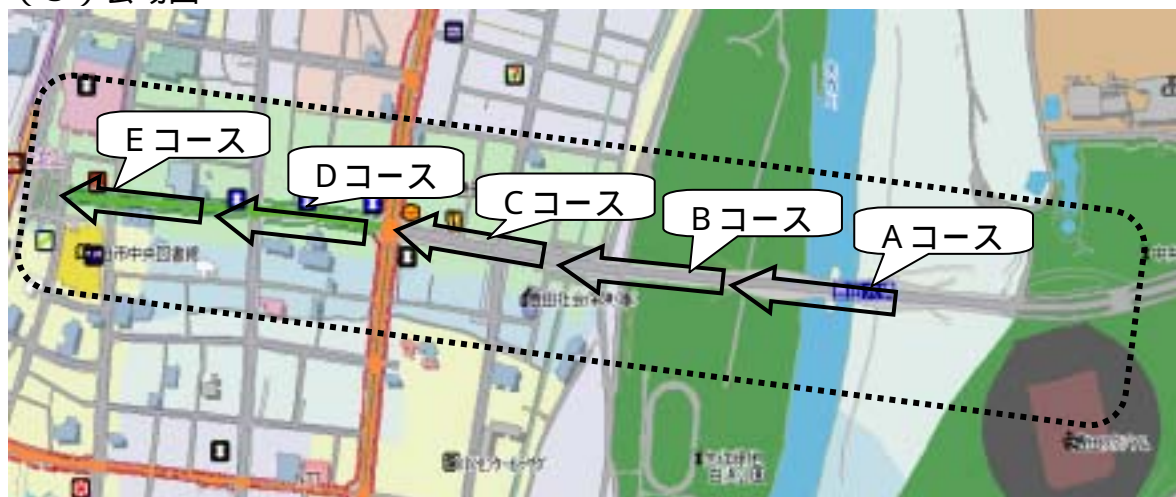
参加者数：228連、9,262人

観客数：約8万人

### (2) 開催実績

参加連数	全体	228連	9,262人
	1部	78連	2,806人
	2部	108連	3,899人
	リトル	42連	2,557人
観客数	80,000人		

### (3) 会場図



### (4) スケジュール

行事名	開催時間	場所	行事内容
オープニング	13:30～14:00	駅前ロータリー 駅前通り	プラスバンドパレード、はりぼて・みこしパレード
ファイナル1部	14:00～16:12	駅前通り他	約5,000人が参加する踊りの大パフォーマンス
表彰	16:12～16:40	ペDESTリアンデッキ	おいでん大賞等の表彰
リトルおいでん	16:40～17:05	駅前通り他	幼保園児の踊り
ファイナル2部	17:20～19:32	駅前通り他	約5,000人が参加する踊りの大パフォーマンス
表彰	19:32～20:00	ペDESTリアンデッキ	おいでん大賞等の表彰

( 5 ) 交通規制図

**第39回 豊田おいでんまつり  
おいでんファイナルに伴う交通規制**

平成19年7月28日(土)

荒天時は中止

当日のテレホンサービス  
**0180-99-5533**  
(ご利用できない携帯電話もあります)



凡例

- 車両通行禁止(おいでんファイナル会場)  
PM1:00～PM6:00
- 車両通行禁止  
PM1:00～PM6:00
- 車両通行禁止  
PM1:00～PM6:00
- 車両通行規制(片側一車線のみ)  
PM1:00～PM6:00
- 臨時駐車場

※ 規制時間は現場の状況により変更  
することがあります。

※ 当日は混雑が予想されますので、電車・バス  
などの公共交通機関をご利用ください。

豊田市・豊田警察署  
豊田おいでんまつり実行委員会



### 3. 花火大会

#### (1) 開催概要

日時：7月29日(日) 午後7時10分～午後9時

開催実績

- ・観客数：約35万人
- ・打上げ玉数

種 類		39回実績
打上げ花火	4号玉	210玉
	5号玉	30玉
	8号玉	34玉
	10号玉	18玉
	芸協 5号玉	60玉
	芸協 8号玉	10玉
	芸協 10号玉	19玉
手筒花火		20本
仕掛け花火		11基
スターマイン		23基
創作花火		7基
号砲	4号玉	30玉
	彩色煙柳4号	80玉

#### (2) 交通規制図

**第39回 豊田おいでんまつり  
花火大会に伴う交通規制**

平成19年7月29日(日)  
荒天時は翌日に順延

**当日のテレホンサービス  
0180-99-5533**  
(ご利用できない携帯電話もあります)

凡 例

- 車両通行禁止  
AM10:00～PM10:00
- 車両・人立入禁止(豊田大橋)  
AM10:00～PM10:00
- 車両・人立入禁止  
AM9:00～PM11:00  
※バス・バス専用ルートはAM9:00～PM11:00も利用可能
- 車両通行禁止(白洲側堤防)  
PM3:00～PM10:00
- 車両通行禁止  
PM5:00～PM10:00
- 一方通行  
PM3:00～PM10:00
- 臨時駐車場

※規制時間は現場の状況により変更  
することがあります。

豊田市・豊田警察署  
豊田おいでんまつり実行委員会 **R100**

※花火大会会場へは、豊田バスなどの公共交通機関をご利用ください。また、花火大会会場周辺は大変混雑が予想されますので、お子様連れの方や高齢者の方は十分ご注意ください。

## 10 . 第39回豊田おいでんまつりアンケート結果

### 一般市民向けアンケート

#### 調査概要

調査方法	インターネット調査（パソコン）
調査対象	愛知県豊田市にお住まいで小学生以上の来場された方
調査依頼数	1970 サンプル
総回収数	767 サンプル
提出数	600 サンプル
割付	男性(300 サンプル)
	女性(300 サンプル)
実施期間	2007年08月01日～2007年08月05日

### 集計結果

アンケート内容		集計結果（％）	
1	あなたの住所はどちらですか。	拳母地区	31
		高橋地区	16
		上郷地区	8
		高岡地区	18
		猿投地区	15
		松平地区	4
		足助地区	1
		藤岡地区	5
		旭地区	0
		小原地区	1
		稲武地区	0
		下山地区	1
		その他	0



2	あなたの年齢層をお教えてください。	小学生	0
		中学生	1
		高校生（15歳～17歳）	1
		18歳～19歳	1
		20歳代	26
		30歳代	43
		40歳代	20
		50歳代	6
		60歳代	2
70歳以上	0		
3	第39回豊田おいでんまつり踊りに参加しましたか。または、見ましたか。（マイタウンおいでん含む）	参加した（または見た）	35
		参加していないし、見ていない	65
4	以降の質問は問い3で「参加した（または見た）」という方にお聞きします。今年よりおいでんまつりの踊りは土曜日の昼夜2回開催で行っています。日程についてどう思いますか。	今のままで良い	31
		昨年までのように2日がよい	46
		1日で昼のみがよい	5
		1日で夜のみがよい	15
		その他	3
5	今年から輪踊りの形式から「踊りを見せるまつり」にするためにパレード形式に変更しました。どう思いましたか。	「踊りを見せるまつり」になっていたと思う	56
		変わらない	28
		その他	16
6	おいでんファイナル会場についておたずねします。	現在の豊田スタジアムから豊田市駅前の1直線でよい	43
		第38回までの豊田市駅前の中 心市街地がよい	53
		その他	4
7	おいでんファイナルは各地区で開催されるマイタウンおいでんより選抜された踊り連の参加となりましたが、参加連のマナーについてどう思いましたか。	昨年よりずっとよくなった	50
		昨年と変わらない	41
		その他	9
8	第39回豊田おいでんまつり花火大会を見ましたか。	見た	62
		見ていない	38
9	おいでん花火大会をご覧になってどう感じましたか。	十分楽しむことができた	55
		普通	36
		不満が残った	9

10	<p>問9で「不満が残った」とお答えになった方にお聞きします。 何が不満に感じましたか。 (複数回答可)</p>	人が多く、見る場所がない	52
		音響がうるさい	6
		照明が暗い	6
		ゴミが散乱している	27
		トイレの数が足りない	24
		駐車場が少ない(路上駐車がひどい)	46
		その他	36

## 踊り連アンケート

### 調査概要

調査方法	郵送によるアンケート用紙配布
調査対象	第39回おいでんまつり参加踊り連代表者
調査依頼数	321 サンプル
総回収数	118 サンプル
回収率	36.8%
割付	割付条件なし(118 サンプル)
実施期間	2007年7月29日 ~ 2007年8月5日

### 集計結果

アンケート内容		集計結果 (%)	
1	参加の仲間は。	学校	15
		職場	15
		自治区	15
		友達	35
		その他	20
2	あなたの連の主な住所はどちらですか。	挙母地区	30
		高橋地区	23
		上郷地区	7
		高岡地区	4
		猿投地区	15
		松平地区	3
		足助地区	5
		藤岡地区	5
		旭地区	0
		小原地区	0
		稲武地区	1
		下山地区	0
		市外	7

3	あなたの連の主な年齢層は次のうちのどの年齢層ですか。	小学生	25
		中学生	5
		高校生	6
		18歳～19歳	0
		20歳代	29
		30歳代	15
		40歳代	8
		50歳代	10
		60歳代以上	2
4	参加するにあたりどのくらい経費がかかりましたか。(衣装代)	100,000円以下	78
		100,001円～200,000円	14
		200,001円～300,000円	2
		300,001円～400,000円	3
		400,001円以上	3
5	参加するにあたりどのくらい経費がかかりましたか。(その他経費)	10,000円以下	48
		10,001円～20,000円	19
		20,001円～30,000円	7
		30,001円～40,000円	4
		40,001円以上	22
6	おいでんまつりの開催を何で知りましたか。(複数回答可)	観光協会からの案内	65
		広報とよた	32
		テレビのCM	1
		ラジオのCM	0
		ポスター	4
		インターネット	5
		口コミ	10
		その他	11
7	マイタウンおいでんについてお聞きします 今年初めての試みでしたが、どうでしたか。	大変よかった	7
		まあまあよかった	21
		ふつう	14
		あまり良いとは思わない	38
		その他	20
8	来年以降も。	行すべき	58
		行すべきでない	42

9	今年よりマイタウンおいでん上位入賞者がおいでんファイナルへ出場できるという形式になりましたが、どう思いましたか。	上位を目指すことが目標となり、大変良かった	34
		もっと対象数を減らしたほうがよい	2
		必要ない	29
		その他	35
10	マイタウン会場までの主な交通機関は何でしたか。	マイカー	76
		徒歩、自転車	8
		公共交通機関	9
		貸し切りバス等	4
		その他	3
11	問10で「マイカー」と答えた方は、どこに駐車されましたか	有料駐車場	12
		臨時駐車場 (学校のグラウンド等)	46
		路上	2
		その他	40
12	おいでんまつりに参加した主な理由は何ですか。(複数回答可)	心が豊かになる	15
		仲間との親睦	71
		地域のコミュニティー活動	23
		事業所の親睦	7
		踊ることが楽しいから	76
		学校の行事	3
		その他	20
13	おいでんファイナルまでの主な交通手段は何でしたか。	マイカー	56
		徒歩、自転車	15
		公共交通機関	17
		貸し切りバス等	8
		その他	4
14	問13で「マイカー」と答えた方は、どこに駐車されましたか。	有料駐車場	31
		臨時駐車場 (学校のグラウンド等)	41
		路上	2
		その他	26
15	今年のおいでんファイナルについてどうお考えですか。	十分楽しむことができた	5
		普通	5
		不満が残った	85
		その他	5

16	問15で「不満が残った」と答えた方は、何が不満でしたか。(複数回答可)	会場が狭い	8
		踊る時間が短かった	53
		音響が(聞こえない うるさい)ため踊りにくかった	1
		照明が(暗い 明るすぎる)ため踊りにくかった	5
		(前 後ろ)に迷惑な連がいて十分に踊れなかった	2
		その他	68
17	おいでんファイナル会場についておたずねします。	現在の豊田スタジアムから豊田市駅の一直線でよい	13
		第38回までの豊田市駅前の中心市街地がよい	73
		その他	14
18	来年もおいでんまつりに参加したいと思いますか。	参加する	70
		参加しない	1
		わからない	29

## 中心市街地在住者アンケート

### 調査概要

調査方法	自治区を通し各家庭に配布
調査対象	中心市街地（下町）在住の方
調査依頼数	5148 サンプル
総回収数	170 サンプル
回収率	3.3%
割付	割付条件なし(170 サンプル)
実施期間	2007年7月29日～2007年8月15日

### 集計結果

	アンケート内容	集計結果 (%)	
1	今年よりおいでん総踊りは、おいでんファイナルとなって7月最終の土曜日の1日となりました。日程についてどう思いますか。	今年のままでよい	52
		2日開催がよい	40
		その他	8
2	今年から輪踊り形式から「踊りを見せるまつり」にするためパレード形式に変更しました。どう思いましたか。	「踊りを見せるまつり」になっていたと思う。	48
		変わらない	14
		その他	38
3	今年のおいでんファイナルの会場についてどう思いますか。	この会場でよい	38
		昨年までのような中心市街地にしたほうがよい	38
		豊田スタジアムを会場とした方がよい	16
		その他	8
4	おいでんファイナルは各地区で開催されるマイタウンおいでんより選抜された踊り連の参加となりましたが、参加連のマナーについてどう思いましたか。	昨年よりずっとよくなった	61
		昨年と変わらない	16
		その他	23

5	おいでんまつり花火大会をご覧になってどう感じましたか。	十分楽しむことができた	50
		普通	20
		不満が残った	21
		見ていない	9
6	問5で「不満が残った」という方にお聞きします。何が不満に感じましたか。(複数可)	人が多く、見る場所が無い	20
		音響がうるさい	8
		照明が暗い	2
		ゴミが散乱している	41
		トイレの数が足りない	14
		駐車場が少ない(路上駐車がひどい)	55
		その他	20



# 豊田おいでんまつりへの提言

平成19年12月20日

豊田おいでんまつり懇談会

